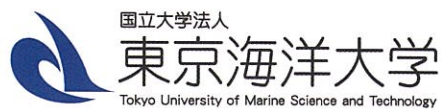


令和3年度
東京海洋大学基金
活動報告書



東京海洋大学は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

東京海洋大学基金

海洋分野から、未踏の世界に。そして多様性のある大学へ
皆様のご寄付が、海洋の未来を拓きます

学 長 挨拶

皆様には、日頃より東京海洋大学へご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、皆様からご支援いただきました「東京海洋大学基金」を活用した事業を本年度も実施することができましたこと、誠にありがとうございました。

令和3年度においては、変異を繰り返し拡大し続ける新型コロナウイルス感染症に対して、学生の安心安全な大学生活を取り戻すべく、家計が急変した学生やアルバイト収入が減少した学生に対して、前年度に引き続き、修学支援を目的として奨学金給付、修学支援貸与金、食の支援、授業料免除、授業料徴収猶予、遠隔授業への対応費用補助等を行うとともに、私費外国人留学生の新規渡日に対する受入支援等の手厚い支援等を行うことができました。

心から御礼申し上げます。

相次ぐ変異株の出現により、新型コロナウイルス感染症は未だ終息の気配を見せていません。未来を担う学生の多様な活動を支援するために、この基金事業を継続・発展させていくことは必要不可欠であると考えております。

今後とも皆様方のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



国立大学法人東京海洋大学長

井関俊夫

Message



理事・副学長

庄司 るり

理事・副学長（学生支援・広報担当）からのメッセージ

本学では、経済的理由により修学が困難な学生を支援するため、平成28年11月に「修学支援事業基金」を設置し、これまで多くの皆様方からご支援いただいたご寄附をもとに、学生の経済的支援をしてまいりました。

令和3年度においては、変異を続ける新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を受けた学生も含め60名以上に総額約680万円の経済的支援を行うことができました。いただいたご寄附に対して改めて感謝申し上げますとともに、今後も修学困難な学生の支援ため、温かいご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

どうもありがとうございました。

事業概要

東京海洋大学基金は、本学における教育研究、国際交流及び社会連携に関する活動等の推進を図るとともに、教育研究環境の整備充実に資することを目的としています。

東京海洋大学基金寄附メニュー



寄附メニュー

A：一般基金

目的指定をせず、大学全体のために活用させていただいています。

B：プロジェクト基金

目的を指定して、各プロジェクト活動の推進のために活用させていただいています。

- ▶ 大学プロジェクト（大学ビッグプロジェクト支援）
- ▶ 修学支援プロジェクト【修学支援事業基金】（税額控除対象）
- ▶ 研究等支援プロジェクト【研究等支援基金】（税額控除対象）
- ▶ グローバル教育支援プロジェクト
- ▶ 学部・研究科等プロジェクト
 - 海洋生命科学部□海洋工学部□海洋資源環境学部□海洋科学技術研究科（大学院）
- ▶ 課外活動等プロジェクト
- ▶ マリンサイエンスミュージアム事業（雲鷹丸修復事業含む）
- ▶ 附属図書館整備充実
- ▶ 海洋生命科学部・海洋資源環境学部学術奨励基金
- ▶ 水圏科学フィールド教育研究センター保全支援基金
- ▶ 海洋工学部国際交流基金

収支報告【令和3年度】

受入額

皆様からの温かいご支援により、多額のご寄付をいただきました。
ご支援をいただきました皆様に、改めて深く感謝申し上げます。

受入件数 271件

受入総額 69,098,162円

寄附者区分	件数	寄附金額(円)
法人	10	8,415,000
個人	261	60,683,162
合計	271	69,098,162

基金支援事業支出報告

皆様方から賜りましたご寄附は、ご寄附の目的に沿って、各支援事業に活用させていただきました。

支出総額 76,756,210円

支援事業	執行額(円)
学生の修学支援	21,214,424
教育研究環境の整備	202,113
学術資料の収集・管理等	47,097,510
その他目的達成に必要な事項	8,242,163
合計	76,756,210

※令和3年度収支差額 7,658,048円については、前年度からの基金繰越金により措置させていただきました。

主 な 活 動 報 告

学生の修学支援 支援額 21,214,424円

修学支援事業 3,325,000円

修学支援事業とは経済的理由によって授業料の納付が困難で、かつ学業優秀と認められる学生に、授業料相当の学費の一部を支援するための奨学金給付です。

- ▶ 令和3年度は学資支給事業として32名の学生に支援給付することができました。
【支援額】 32名×100,000円
- ▶ 東京海洋大学経済支援給付制度により1名の学生に支援給付することができました。
【支援額】 1名×125,000円

新型コロナウイルス感染症対策助成事業 3,984,227円

- ▶ 新型コロナウイルス感染症対策助成事業
コロナ禍の影響により修学が困難となった学生35名に支援給付することができました。
【支援額】 35名×100,000円
- ▶ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策
学生の感染拡大防止策として、両キャンパス内に一時待避スペースの確保等に活用させていただきました。
【支援額】 484,227円
- ▶ 修学支援貸与金
コロナ禍の影響により家計事情の急変、アルバイトの収入減少などで、生活支援を必要としている学生や遠隔授業への対応の必要がある学生10名に6万円（1人当たり）を貸与しました。
【支援額】（10名×60,000円）※年度内返還済み

学部・研究科等プロジェクト支援事業 13,905,197円

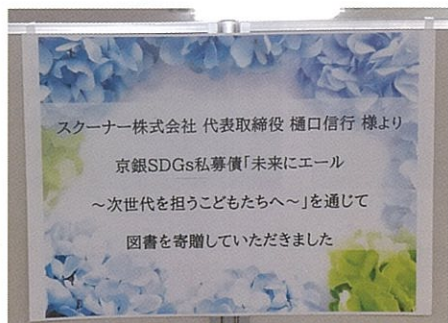
特定の学部等へご支援いただいたプロジェクトにおいても、学部等独自に学生の修学支援事業に活用させていただいております。

【支援額】

海洋生命科学部・海洋資源環境学部 862,751円
海洋工学部 2,782,446円

三輪正人育英会奨学基金（海洋工学部） 10,260,000円

- ▶ 旧東京水産大学卒業生のスクーター株式会社代表取締役社長樋口信行様から、「京都銀行SDGs 私募債『未来にエール』～次世代を担うこどもたちへ～」を通じて、授業の指定テキストや学生からリクエストのあったものを中心に、図書を寄贈いただきました。
<附属図書館>



- ▶ 令和3年度においても基金により、「大津皓平文庫」の整備充実をすることができました。授業指定図書・シラバス掲載の教科書、教員の選定する専門性の高い資料、洋書など整備するとともに和洋電子書籍の充実を図っています。<附属図書館越中島分館>



【支援額】 1,608,447円

- ▶ 附属図書館の整備充実のために、学生用図書・電子書籍の充実に活用させていただきました。
各教員からの推薦、学生からのリクエスト図書（電子書籍、視聴覚資料を含む）を整備することができました。

【支援額】 1,498,515円

※整備させていただいた一部の書影をご覧ください。 ▶



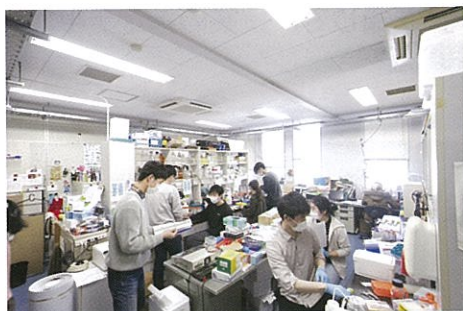
- ▶ 重要文化財「明治丸」の修復及び維持管理のために使わせていただきました。

※重要文化財「明治丸」「百周年記念資料館」「明治丸記念館」の観覧については明治丸海事ミュージアムのホームページをご覧ください。▶

【支援額】 43,990,548円



支援いただいた学生の声



<修学支援事業> <新型コロナウイルス感染症対策助成事業>

この度は奨学金のご支援をいただき、誠にありがとうございます。学年が上がることによって、専門科目が多くなり、これらの勉強から私は将来の研究や就きたい職業などについて悩む時間が増えました。しかし、家計が良い状況ではないため、私は勉学や進路の考えよりも生活費や学費を稼ぐため多くの時間をバイトに使うしかありませんでした。ご支援のおかげで、今は勉学に励む時間が十分になり、自分がしたい研究を調べたり、本を読んだりなど、学業に対して意欲が高まりました。また、部活に参加できる日も増え、充実した日々を送るようになりました。

留学生として、日本に来て一人で勉強し、生活するのが時々本当につらくて、苦しかったこともありましたが、奨学金がただの経済的支援だと考えられるかもしれませんが、私には誰かに支援を受けていることが応援してもらおうこととして感じられて、日本で生活する上で、すごく力になりました。再び感謝の言葉を申し上げます。(海洋生命科学部2年生)

今回は奨学金を給付していただきありがとうございました。おかげさまでこのコロナ禍の中でも金銭の心配なく、研究を進めさせていただいています。おかげさまで国内の学会での研究発表も行うことができました。今回は本当にありがとうございました。

今後は現在行っている研究を着実に進めていき、海外の学会などで発表できるようにしていきたいです。またそれ以外にも公私共々充実した学生生活を送れるよう頑張っていきたいと思います。(博士前期課程(修士)1年生)

この度は修学支援事業基金修学支援事業基金によるご支援を賜り、誠にありがとうございます。このような支援を頂いたおかげで、学業や研究活動に専念することが出来ました。現在行っている修士論文の完成を目指して、残り少ない大学院生としての時間を有意義に過ごしていきたいと思っています。繰り返しになりますが、この度はご支援をいただき本当にありがとうございました。両親をはじめ今回の修学支援事業基金など様々な支援を受けてきました。このような支援を頂いたおかげで、学生生活を過ごすことが出来たとともに、理想のキャリアを踏み出すための第一歩となる会社の内定を頂くことが出来ました。このご支援への感謝を忘れないとともに、これからの学生へも同様に支援していけるようお手伝いをしたいです。(博士前期課程(修士)2年生)

ありがとうございました。この度は、奨学金のご支援をいただきまして、誠に感謝しております。奨学金のご支援のおかげで、学費の支払いにあてることができて、現在は学業に充実して取り組むことができています。

コロナ災いという困難の状況の中、温かいご支援をいただき本当に感謝いたします。この気持ちと支援を忘れずに、これからさらに勉強に励み、ご期待に応えるよう精進してまいります。(博士後期課程(博士)2年生)

寄附者からのメッセージ

皆様からは金銭的なご支援だけではなく直接いただく「お声」が東京海洋大学の活動、学生の励みとなっています。

コロナ禍で困窮が続く学生さんも多いと思います。少しでもお役立ていただければ幸いです。コロナ禍中ではございますが、東京海洋大学の一層のご発展を心よりお祈り申し上げます。コロナ禍ではありますが、学業、課外活動等、充実した学生生活を送らせてあげて欲しい新型コロナが収まらない中、生活もままならず、休学、退学を選択せざるを得ない学生がいるというニュースを良く目にします。頑張っていて勉強して、夢を持って入学されたのに非常にもったいないことです。微々たるものですが、ご支援させていただきます。

コロナでご苦労されている学生さんもいらっしゃると思います。今年も少額ですが、寄附させていただきます。

微力ですが、コロナ禍でも、全ての学生が学業に専念できるように願います。

新型コロナウイルスに負けないで実験や実習に頑張ってください。

修学希望の若者が金のために修学継続出来ないのを黙って見ているのは忍びない。

海洋系総合大学として社会に貢献する人材を育成してほしい。

世界に通用する研究者の育成を期待しています。

社会に貢献できる人材を育成し続けてください。

学生達の探求に発展に期待します。

大学の特性を生かし、優秀な人材の育成をお願いします。

有為な人材の育成をよろしくをお願いします。

海洋国家存続の為、粘り強く頑張ってください。

日本の将来の為、ひいては世界平和に貢献する為の人材育成に期待します。

学生時代奨学金のお世話になったので、修学支援金に寄附したいと思います。

卒業生であり教育関係に就職しているので、お役にたてればと思います。大学には古いものも大切にしながら、新しいことにチャレンジしてください。

卒業生の親です。学生が安心して勉学に励めるよう望みます。

卒業生の親です。学生の方が伸び伸びと生活を送られることを願います。

娘が4年間お世話になりました。少しでも学生さんの役に立つと嬉しいです。

母校の益々の御活躍を願って

世界共通のSDGSの達成を海洋大と海外の大学の学生が共に学べる環境整備に役立てて下さい。

設備の充実もお願いします。

わずかな金額ですが、お役立ていただければ幸いです。

年金生活ですので些少の寄附ですが、有効にご活用いただければ有難く思います。

国益のため邁進ください。

東京海洋大学のさらなる発展を心よりお祈り申し上げます。

貴学のますますのご発展をお祈り申し上げます。微額ではありますが、お役立て頂ければ幸いです。



ご 寄 附 へ の 謝 意

寄附者の皆様に深い感謝の意を込めまして、ご希望いただきました方へは、以下のとおり本学から謝意を表します。

▶ 寄附者芳名録

ご芳名を本学ホームページに掲載し、末永く歴史に刻ませていただきます。

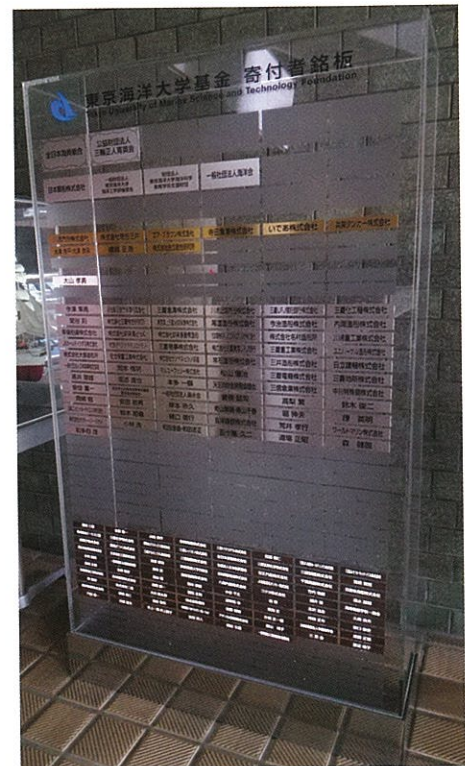
▶ 感謝状贈呈

寄附累計額が10万円以上の皆様に感謝状を贈呈いたします。

▶ 寄附者銘板への掲載

寄附累計額が30万円以上の皆様につきまして、寄附者銘板にご芳名を記し、顕彰させていただきます。

銘板は品川キャンパス(本部管理棟1階玄関ホール)と越中島キャンパス(1号館1階正面玄関ホール)に設置しております。



寄附者銘板 (品川キャンパス R4.3現在)

▶ 「感謝の集い」にご招待

本学が平成23年に「東京海洋大学基金」を設立して以来、一定額(累計30万円)以上の寄附をいただいた方々をお招きして、直接謝意をお伝えする「感謝の集い」にご招待いたします。

※令和3年度におきましては、新型コロナ禍のため実施を見送らせていただきました。

お問い合わせ先
東京海洋大学基金
基金渉外課

〒108-8477 東京都港区港南4-5-7
TEL 03-5463-4279 FAX:03-5463-0359
E-Mail:ef-kikin@o.kaiyodai.ac.jp
URL:https://www.kaiyodai.ac.jp/kikin/



東京海洋大学基金